

# 地獄めぐり

日本最古の天然地獄であり、点在する9つの様々な地獄をめぐる。各地獄は、それぞれ異なる景観を持ち、別府観光の目玉となっています。

## <かまど地獄>

かつて大祭のときに地獄の蒸気でごはんを炊く風習があったことから「かまど地獄」と名付けられました。奥にある色とりどりの地獄が特徴です。

## <海地獄>

海地獄は、9つの地獄の中では最も規模の大きなものです。お湯の温度は98度もあるのですが、水面が美しいマリブルーをしているので、南の海のように涼しげに見えます。

## <血の池地獄>

血のような赤は、煮えたぎる粘土が化学反応して底に沈んでいるもので、「万葉集」にも「赤池」と記されているそうです。この粘土で作った、皮膚病に効くという血の池軟膏が名物です。

## <白池地獄>

噴出時は無色透明の湯が、池におちると乳白色になる不思議な池で、熱湯ではないのでまわりに植物が植えられていて、まわりの緑と乳白色の池がマッチしてとても美しい地獄です。

## <竜巻地獄>

25分から30分おきに噴出する、市の天然記念物の間欠泉です。高さ20mにもなるという間欠泉を屋根で遮ってあります。まわりにはツツジが植えられていて、こちらの方も見所です。

## <坊主地獄>

坊主地獄は、煮えたぎった熱泥の中で泡が不気味にポコポコと音を立ててわき上がっている小さな池が点在していて、まさに地獄といった感じの池です。

## <鬼山地獄>

鬼山地獄は、怖いぐらいのすごい勢いで蒸気が噴きだしてくるのが特徴です。ここでは、この蒸気の熱を利用してワニを卵からかえし、飼育しているので、別名「ワニ地獄」といわれています。

## <金竜地獄>

立ち上る蒸気が朝日に映えて、金色の竜が昇天するように見えるということから「金竜地獄」とついたそうで、別府で一番の湧出量の地獄です。蒸気がのどにいいそうで、蒸気の吸入サービスがあります。

## <山地獄>

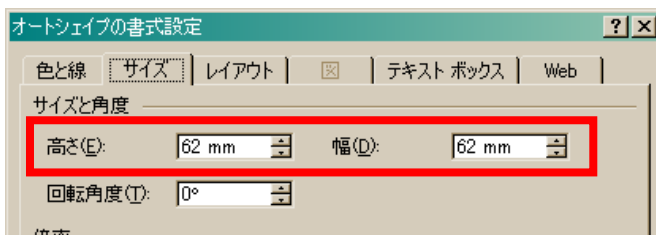
山地獄は、粘土を吹き出す泥火山で、泥が積もって山になったものです。山の間からもうもうと立ち上る蒸気は、迫力満点です。ここでは、温泉熱を利用して世界各国の動物を飼育しています。



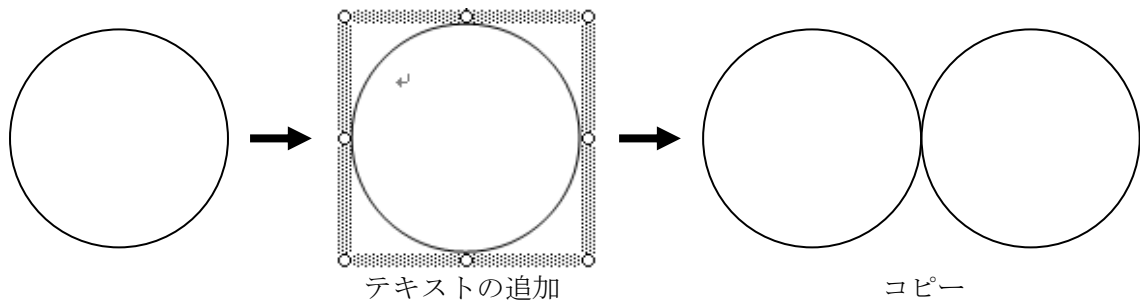
# 地獄めぐり

(解説)

1. ページ設定を行う。(余白：上下左右 20mm)
2. ページ全体に改行を入れ、タイトル部分を作成する。
  - ※1：オートシェイプから「爆発 1」を利用し、適当な大きさと作成する。
  - ※2：「塗りつぶしの色：薄い黄色」と「線の色：オレンジ」に変更する。
  - ※3：ワードアートから「書体：HG 創英角ポップ体、48pt」で作成する。
  - ※4：「塗りつぶし効果：虹 2 (既定)」「線の色：なし」に変更する。
  - ※5：両方を選択し、「グループ化」と「用紙に対して中央揃え」を行う。
3. 「日本最古の～」の文字を入力する。
4. 「～地獄」の円を作成する。
  - ※1：オートシェイプから「楕円」を利用し、適当な円を作成する。
  - ※2：作成した円を右クリックで選択し、「オートシェイプの書式設定」をクリックする。
  - ※3：「サイズ」を選択後、「高さ：62mm、幅：62mm」に変更し「OK」をクリックする。



- ※4：円に変更されたら、さらに右クリックで選択し、「テキストの追加」をクリックする。



- ※5：円の線上を選択し、キーボードの「Ctrl」キーを押しながらコピーを作成する。
- ※6：文字を入力する。  
＜～地獄＞部分は「サイズ：12pt」、＜文章＞部分は「段落」「行間：固定値 12pt」

5. クリップアート（キーワード：鬼）で検索し、イラストを挿入する。